



えがお いっぱい

令和 6 年 5 月 24 日
富士市立富士南小学校
学校だより 6 月号

小中一貫教育目標 「やさしく いきる」
重点目標 「あいさつがいっぱい えがおもいっぱい」

6月・7月の生活目標 「自分や友達のよさを見つけよう」

アジサイの花咲く季節となりました。アジサイの花は、色づいてくる時期はそれぞれの木によって違います。また、その土壌の性質の違いにより、白・ピンク・青・紫と花の色も違ってきます。一つの花の塊には、色づいているもの、色づき始めたもの、まだまだ薄緑のままのものなど、いろいろな花が集まっています。しかし、みんな必ず色づき、きれいな一つのアジサイの花、そして、一本のアジサイの木となります。



それは、一人一人の子供が、学校・家庭・地域といった土壌から養分を受け取り、それぞれが、時期はずれるかもしれませんが、すてきな色の花を咲かせるイメージと重なります。「やさしく いきる」～「あたたかい土壌」「寄り添う土壌」「包み込む土壌」「だめなことはだめと時には厳しい土壌」どれも子供たちに必要な栄養素を含む土壌です。

また、子供たちが、それぞれの花の色や形の違いを「受け止めて」、それぞれの「思いを伝える」ことができるようにする養分を学校・家庭・地域が与えることも必要になると考えております。今後も、「小中一貫教育」及び「地域とともにある学校」への御理解と御協力をお願いいたします。

◇ はきものをそろえると心もそろう ◇

右の2つの写真は、とある日の靴箱の様子です。靴のサイズを見ていただければ分かりますが、上の写真が6年生、下の写真が1年生です。どちらもかかとがきちんとそろえられ、整然と靴箱に収められています。

この様子を見て、長野市の円福寺の住職だった藤本幸邦（ふじもとかうほう）さんの「はきものをそろえる」という詩を思い出しました。

「はきものをそろえると心もそろう／心がそろうとはきものがそろう／ぬぐとにそろえておくとはくときに心がみだれない／だれかがみだしておいたらだまってそろえておいてあげよう／そうすればきっと世の中の人の心もそろうでしょう」

2クラスの学年に差はありますが、「心がそろう」という状態は一緒であったことが推察できます。この日は、他のクラス、他の学年も見回りしましたが、どこの下駄箱も落ち着いた状態で靴が収められていて、とてもよい気持ちになりました。日常に見られる富士南小学校の自慢の一つにしていきたいと思いました。そして、かかとがそろっていない靴箱を見掛けたら、そっとそろえてあげようと思いました。お子さんの御家庭での玄関先の靴の様子はいかがでしょうか？



◇ 5月30日（木）「南小体育の日」 ◇

5月19日（日）に行われたPTA奉仕作業に参加して下さった保護者の皆様にお礼を申し上げます。子供たちは、「南小体育の日」に向けて準備と練習に意欲満々で臨んでいます。「みんなで協力 みんなが笑顔」「思いっきり運動を楽しもう！」がスローガンです。当日は、あたたかい御声援をよろしく願います。